



発行 河辺村公民館
編集 館報編集委員会
電話(河辺)5番
印刷所 尾上印刷所
八幡浜市天神通 電話0091番

ふるさととの再発見

郷土教室をこころみる

この郷土教室は青少年教育の一環として、中学生や高校生約五十名を対象におこなわれた。
郷土に住んでいて郷土の良さを知らないではないか……
山村で僻地であるこの村に、県指定の文化財が四つもあるのは何を物語るか、それは河辺村にすぐれたものがあるからである。
過去のものは「御幸の橋」



河辺村勢

Table with population statistics for the Kawabe village in three periods: (S.46.9.1), (S.45.10.1), and (S.40.10.1). Columns include total population, children, and gender breakdown.

期待される 壮年者

この町村の中堅であり、一家の柱でもあり、社会の盛衰を背負うて、なほつよく頭張りとおすと、なほつよく頭張りとおすと、なほつよく頭張りとおすと……
(一) 今の世の中は一連の機構の中で生活している。一人が孤立して事業を進めることはむづかしい。数人があるいは部落が心を同じくして進むべきである。

民主主義について思う

民主主義とは、支配すなわち権力が支配者にあつた時代の考へ方に対する民衆の主義、主張であつて、主権すなわち権力が大衆にあるという考へ方である。
(一) 自己の個性において社会の発展を期待することは、英雄的行為であらうけれども民主主義的ではあり得ない。考へるが、読者諸君の御意見を承りたい。

母と子の読書運動

公民館では読書の秋にむかひ「母と子の文庫」という移動文庫をはじめました。
この目的は、幼児期の読書づくりがもっとも大切で、この機会に母親が読んで聞かせることによつて、親子の心のふれ合いを深めると共に、子供の一生を左右する読書力の基礎をやしなつていくことである。

農道事業

着々とすすむ
事業費二八、〇七五、〇〇〇円をかり、延長一、三九五メートル、幅員四メートルで完成は四十七年二月の予定。
◎大中山線
事業費に三、七〇〇、〇〇〇円をかり、延長六〇〇メートル、幅員三・六メートルで完成は四十六年十二月の予定。

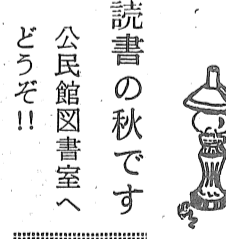
秋の交通安全運動

九月二十七日より十月六日までの十日間運動が行なわれまふ。
重点は、子供と老人の事故防止、飲酒運転の追放です。
交通安全防止に協力して下さい。

やねばし

あるバスで、隣に乗合わせた若奥さんは、三歳になるという女の子を連れていた。なかなか賢いお嬢ちゃん、話しましかりり話した。といて、大人っぽいというのでなく、アラレを袋からこぼしてしまつたり、よその子が食べているお菓子をほしがたりという、ごく当り前の子供のだが、何か一本しんが通っているという感じなのである。
バスが終点に近づくと、お嬢ちゃん、ひとりでクツをはき始めた。横のボタンがなかなかとまらず「とめられないヨ」というとお母さんは「ゆっくりやめてごらん。とめられるから」と、決して手をかそうとはしない。
「ああ、これだな」と私は感じた。こんなとき、もどかし、しんぼうで、親がついて手を出してしまふという経験が、だれにもあると思う。わが家でも、気の短い夫が「やめてやれ」という命令を出すほどで、そのしんぼうでかかたて、子供をわがままに育ててしまつたやうである。
「よくしんぼうなさいませうとおえらいますね」と、つい口を出した私に「いいえ私がお菓子をたいたけです」と、さびげなくけんそんさな言葉がさわやかだった。(或る主婦の手記より)

「家庭教育」「幼児教育」の問題が大きな課題として、とりあげられている今日、このさきやかな一母親の手記はいろいろの意味で私に反省を与えてくれた。
若い母親の教養を高めるための学習や勉強がいかに大切であるか、ということであらためて、再認識してゆふゆふ子供の将来に、くいのない教育、しつけ、そしてやさしい愛情と、きびしい愛のむちが必要であるまいか。他人に依存する教育では駄目である。あくまでも母親の肌と心の接触がなければならぬ。



読書の秋です
公民館図書室へどうぞ!!

(駐在所)

